

2022年度 事業報告

法人の名称 特定非営利活動法人横浜メンタルサービスネットワーク

1 事業の成果

移転2年を過ぎ3年目となる今年度は、新たに「子どもとみんなの食堂」を立ち上げた。参加者も40人から50人となっており、毎回手作りのイベントを挟み、子どもと親が一緒になって楽しめる企画になっていっている。食堂を手伝う学生ボランティアも成長する姿も見られるなど、さまざまな効果が出ている。一方で、プレジョブスクールは参加者が少なく、ボランティアの機会があるにもかかわらず、実施できないことも多くあった。その他、ジョブコーチ事業は、転職に際してのジョブコーチ依頼が増えたり、地域の関係機関経由の依頼が多くなったことで、対象者数が減少した昨年度より、稼働率が上昇した。また、コロナ感染予防に注意しながら、体面による研修会を3度開催できた。久しぶりの対面研修で参加者も生き生きとしていた。

2 事業内容

① 精神障がい者等の社会参加を促進する事業

ア. (助成金事業) 訪問型職場適応援助者事業 (ジョブコーチ)

- ・ **内 容** 神奈川県労働局助成金事業、高齢・障害者独立行政法人神奈川県障害者職業センターを窓口とする支援を実施
自立支援協議会等において、ジョブコーチ支援について宣伝をした結果、地域の関係機関からの依頼があり、また、転職した当事者からの依頼もあり、昨年度に比べ稼働件数が増えた。
- ・ **日 時** 適宜
- ・ **場 所** 各企業
- ・ **受益対象者** 精神障がい者等 13人(新規6人、継続支援7人)
- ・ **従事者人員** 2人
- ・ **支出金額** 3,300,588円

イ. 「かながわプレジョブスクール」

- ・ **内 容** 体調の悪さがあり参加できない利用者が常時いたこと、今年度の参加者が2人と少なかったことから、小グループでの活動が多くなった。結果、卒業生2人、2年目、3年目を希望する人が4人となった。
- ・ **日 時** 5月より3月までの10カ月
- ・ **場 所** 事務所 他
- ・ **受益対象者** 6人
- ・ **従事者人員** 2～3人
- ・ **支出金額** 2,474,182円

ウ. 子ども・中高生の活動、就労支援、みんなの居場所

- ・ **内 容** 駄菓子屋で買い物がてら、のんびりしたり、スタッフと話をすることを楽しんだりする子どもが増えてきている。夏野菜を取ってその場で食べるのを楽しみにする子どもも多かった。また、子どもとみんなの食堂を開始した。

① 中高生の放課後の居場所 Irodori

昨年同様、平日の参加者は少なめだった。月1回の昼食会は感染予防をしつつ開催した。コミュニケーションゲームを取り入れ、“考える・楽しい”を味わえた。また、スクールソーシャルワーカーからの依頼で、小学生も参加し始めた。

② 卒業生を対象にした就労支援(コミュニケーション講座・対象者別) 職場適応 SST/[PDD の会]、[男子会]、フリースペース

SST、PDD での問題解決ミーティングは、就労での問題を整理・解決する重要な時間として参加者に活用してもらっている。このグループの参加者は、問題解決を一人でできることも大事だが、他者の考えや出来事を共有することで、各々の考えや行動に幅がでてきて豊かなコミュニケーション力がつくとして何年間も通いつけている

③ 駄菓子屋やカフェを活用した子ども食堂など

自由に遊び、集える週 1 回の開催日には、毎回 10 人から 20 人の子どもたちが集まるようになった。

毎月 1 回開催の子どもとみんなの食堂は、40 人から 50 人の参加者でにぎわっている。特徴的なのは、親がボランティアでかかわるところ。会員、トライ OB からの食堂への寄付があって運営できていることに感謝する。

- ・ **日 時** Irodori 週 2 回(火、木)16:00~18:30、第 3 土曜日 10:00~13:00
居場所:週 1 回(水)、春・夏・冬休みは日中活動
- ・ **場 所** 事務所 他
- ・ **受益対象者** 中学生、高校生、小学生低学年・親子、若者、就労支援対象者、多数
- ・ **従事者人員** 各回 1~2 人、昼食会 10 人、子どもとみんなの食堂 15 人
- ・ **支出金額** 626, 558 円

エ. 駄菓子屋カフェ Irodori

- ・ **内 容** 無給のボランティアスタッフ(4 人)のおかげでカフェが成り立っている。常連さんを含む 1 日平均 1~2 人のお客さんではあるが、トライ卒業生が話に來たり、親子連れや話をしたい人たちが立ち寄ってくれている。駄菓子屋は子どもたちでにぎわっている。
駄菓子屋とカフェを使った職業体験、また買い物に來る子どもにとっての居場所活動に、参加者も多くなってきた。「絵本の会」を月 1 回開催しているが、参加人数はまだ不安定
- ・ **日 時** 火曜日から金曜日(週 4 日)、第 1・3 土曜日、第 2 土曜日(絵本の会)
- ・ **場 所** 事務所 他
- ・ **従事者人員** 5~7 人
- ・ **受益対象者** 地域の子どもから大人
- ・ **支出金額** 777, 520 円

オ. 精神障がい者等の家族支援を行った

- ・ **内 容** うつ病の家族の会「ふらっと」の活動を応援、定例会への参加等
- ・ **日 時** 毎月 1 回の定例会 全 10 回のうち 8 回(新型コロナウイルス感染拡大予防のため)
- ・ **場 所** ウィリング横浜
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **受益対象者** うつ病の家族 5~6 人
- ・ **支出金額** 0 円

② 子育て・不登校・精神障がい・介護疲れ等への相談事業

- ・ 内 容 就労している精神障がい者への相談等の実施
ジョブコーチ支援が導入できない職場での職場外の相談
- ・ 日 時 適宜
- ・ 場 所 事務所
- ・ 従事者人員 2人
- ・ 受益対象者 上記、内容に含まれる人
- ・ 支出金額 4,780円

③ 精神保健福祉に関する調査研究等の事業

ア. 情報誌の発行

- ・ 内 容 精神保健福祉に関する情報を中心にした情報誌を年4回発行した。
- ・ 日 時 4月 7月 10月 1月 (4回発行)
- ・ 場 所 事務所
- ・ 従事者人員 4人(編集委員)
- ・ 受益対象者 会員、関心がある人
- ・ 支出金額 140,394円

④ 援助者等への相談、研修事業

① スキルアップ研修会を開催した

- ・ 内 容 支援者のスキルアップを目的にした精神保健福祉研修会を開催
対面での研修を再開した。「SST 初級研修」2回、「アセスメント」研修、
オンライン研修「ストレスコーピング」1回
- ・ 日 時 10月、11月、2月
- ・ 場 所 ウィリング横浜、オンライン
- ・ 従事者人員 事務局
- ・ 受益対象者 地域関係機関職員、当事者、関心がある人 62人
- ・ 支出金額 566,706円

⑤ 関連する団体への助言及び援助事業

- ・ 内 容 関係団体に対して、その依頼に応じて助言及び援助を行う。
ア. 横浜市立横浜総合高校「ようこそカフェ」に相談担当として参加した。
イ. 引きこもり連絡会、自立支援協議会への参加 他
- ・ 日 時 適宜
- ・ 場 所 各施設
- ・ 受益対象者 地域関係機関職員、関心がある人
- ・ 支出金額 115,250円

賛助会員：「SST 普及協会」 賛助会員：「日本職業リハビリテーション学会」

団体会員：「横浜市精神障がい者就労支援事業会」 会員：「かながわ精神障害者就労支援事業所の会」
「コンボ」、笹下・東松本町内会、社会保険協会、港南区社会福祉協議会、ひきこもり連絡会

理事会の開催 2カ月に1回 奇数月開催